

# あした 未来へつなぐ

[CS]



ひとりでも多くの人の役に立つために、この北海道で地域と人のために私たちができること。JR北海道グループは、いま真摯に向き合います。「未来(あした)へつなぐ」ために。

文=本間 吾里砂

**鉄道事業者を中心に、全国で一斉に実施！「みんなで手すりにつかまろう」キャンペーンでエスカレーターへの安全利用を呼びかけました**

**J**

R北海道では、七月二十一日から八月三十一

日の約一カ月間にわたり、全国の鉄道事業者五十二社、商業施設、空港各社ほかとともに、お客さまにエスカレーターの安全利用を呼びかけ

る「みんなで手すりにつかまろう」キャンペーンを実施しました。

また、エスカレーターで歩行者のために片側をあけるのは、片側をあけて乗ることのできないお客さまにとっては危険な事故につながりかねない習慣です。

駅などのエスカレーターでは、お客さまがご自身でバラ

JR北海道においては、上

から落ちてきたキャリーバッグに当たり、エスカレーターのお客さまが転倒してケガをするという事故が発生しています。幸い大事には至りませんが、そうした事故を防ぎ、すべてのお客さまに安心してエスカレーターを利用していただくために、キャンペーン参加事業者は共通のポスターを掲出して、「手すりにつかまろう」をアピール。JR北海道でもポスターとともに、放送案内にて啓発活動を実施しました。

八月二十四日には、JR札幌駅、地下鉄南北線さっぽろ駅、地下鉄東西線大通駅の三カ所で、JR北海道、札幌



北海道高校の生徒もポケットティッシュを配布してお声がけをしました。

市交通局様、日本エレベーター協会様、北海道高等学校様と合同でティッシュを配りながらエスカレーターの安全利用を呼びかけました。北海道高等学校様からは高校生が参加し、彼らが呼びかけることで同世代の若者たちへのアピールにつながりました。

この全国一斉キャンペーンは平成二十五年にスタートしましたが、JR北海道では平成二十三年より視覚に訴えるエスカレーター注意喚起サインを制作し、目につくところに掲出することでエスカレーターの安全利用を呼びかけています。全国一斉キャンペーンとあわせ、今後もこのような活動により周知を図っていく方針です。



エスカレーターの安全利用を呼びかける全国共通のポスター。



JR北海道が制作したエスカレーター注意喚起サイン。